

科目名	社会学英語セミナーA						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照				
開講期	春学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	2年次	単位数	2単位
教員名	前川 真裕子						

授業概要／Course outline

本授業は社会学入門AおよびB等の授業に関連したテーマを幾つか選び、それらテーマを英語を用いて学ぶことを目的とする。社会学の基本概念と理論の理解に必要な「英語語彙および文献資料を読み解く力」を獲得し、英語で世界の情報を得ることができるよう収斂することを目的としている。つまり本授業では英語で社会学的知識を「読んで理解すること」に焦点をあてる。また、すでに学んだ知識を英語で学びなおして強化するとともに、最新の社会問題に即して、特に読む力をつける機会を提供する。英語をツールとして今日のグローバルな社会問題を文章を通して実感し、国際的な視野で問題解決を志向することの重要性を理解する。ただし、状況に応じて授業内容の若干の変更を加えることもあるので留意しておくように。注意事項として、基本的に対面として進めていくつもりであるが、場合によってはオンラインでのリアルタイムおよび配信を活用し進めて行くつもりである。その場合は随時、ムードルなどで告知するので必ず定期的に各自で確認すること。

注意：皆さんの長文読解のスピードに合わせて授業を行いますので、スケジュール通りに授業が進まない可能性があります。その場合は小テストの日程もずれると考えておいてください。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・アクティブ・ラーニング授業（形態：反転授業）

受講生からの質疑応答を受け付けます。対話をしつつ学生個々人の学習の質を深め、丁寧な授業をしていきます。

・その他

短い文章を個人あるいは隣席の人と確認し合いながら読みこなしながら英語で情報を理解していく

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回授業 イン트로ダクション

本授業の紹介を行います。本授業の目的、進め方、評価の方法について説明していきます。尚、受講の際の注意点として、本授業では状況にあわせて授業内容を変更する場合がありますことに留意しておいてください。また、授業に適した映像資料を入手できた場合は適宜それらを使いながら授業を進めていく予定です。

第2回～第3回授業 レイジズムについて

レイジズムにまつわる現代的な事例を、その他の様々なキーワードと共に英語圏のニュース記事を読みながら、英語の長文読解の力をつけてもらいます。

第4回授業 小テスト（テストは教室でムードルを用いて行います。）

レイジズムに関する授業で習った長文読解を応用したテストを行い、皆さんの理解度を確認していきます。

第5回～第6回授業 ソーシャルメディアについて

ソーシャルメディアにまつわる現代的な事例についてその他の様々なキーワードと共に英語圏のニュース記事を読みながら、英語の長文読解の力をつけてもらいます。

第7回授業 小テスト（テストは教室でムードルを用いて行います。）

この回ではソーシャルメディアについて学んだことのまとめの回として小テストを行います。

第8回～第9回授業 ジェンダー

授業の前半ではジェンダーにまつわる現代的な事例を、ジェンダー・アイデンティティ、セクシュアリティ、トランスジェンダー、家族といったキーワードたちと共に英語圏のニュース記事を読みながら、英語の長文読解の力をつけてもらいます。

第10回授業 小テスト（テストは教室でムードルを用いて行います。）

ジェンダーにまつわる現代的な事例について確認のテストを行っていきます。

第11回授業 応用編の回1

これまでの授業で習ったスキルをいかして、マルクスやデュルケームなど研究者に関する条文を読解していく。これまでの授業で使った長文よりもより学術的な文章になるが、各自の力を試すため挑戦すること。

第12回授業 応用編の回2

これまでの授業で習ったスキルをいかして、マルクスやデュルケームなど研究者に関する条文を読解していく。これまでの授業で使った長文よりもより学術的な文章になるが、各自の力を試すため挑戦すること。

第13回授業 応用編の回3

これまでの授業で習ったスキルをいかして、マルクスやデュルケームなど研究者に関する条文を読解していく。これまでの授業で使った長文よりもより学術的な文章になるが、各自の力を試すため挑戦すること。

★オンデマンド回（これまでの総括と復習の回）

これまでの授業で習った総復習をします。期末テストのための復習の回でもあります。総復習のあと、質疑応答の時間を設けます。質疑応答と合わせて総復習は90分となります。また場合によっては第11回目から13回目の応用授業で読解できなかった部分を、引き続き読解してもらうことになるかもしれません。総復習15分、質疑応答45分、応用読解30分、合計90分

【注意】この回は13回授業終了後すぐに視聴可能にしておきます。その後、1週間視聴可能ですオンデマンドの動画は1週間視聴可能です。14回目の授業が始まるまでに視聴しておいてください。

第14回授業 期末テストとその解説（テストは教室でムードルを用いて行います。）

これまでの授業をどのぐらい理解しているのかを確認するため最後の期末テストもおこないます。期末テストの後には、その解説を行います。

事前・事後学修／Preparation and assignments

*事前と事後の学習は両方あわせて2時間ほどとって各授業に参加することが望ましいです。本授業では教員がつくった英語のレジュメやワークシートを使い授業を進めていきます。また、それ以外にもさまざまな資料を用いていきます。事前と事後の学習にはそれらの予習や復習をおこなってください。長文や資料は授業中に配布するか、あるいはMOODLEにアップするようにします。

第1回 イントロダクション

【事前】シラバスをよく読んでおく。社会学入門Aの授業でならったことを復習しておいてください。

【事後】配布したレジュメや資料を復習してノートを整理する。

第2回授業 英語の長文を読解のコツ

【事前】事前に配布する英語で書かれた長文を読み、単語の意味を確認しておく。

【事後】配布したレジュメを復習しておくこと。

第3回～第4回授業 レイシズムについて

【事前】指示されたトピックについて、英語のニュースサイトなどを検索し単語等の意味を事前に調べるなどして準備しておく。

【事後】配布した長文を復習してノートを整理する。

第5回 小テスト

【事前】指示されたトピックについて、小テストのための予習をしておくこと。

【事後】配布したレジュメを復習してノートを整理する。

第6回～第7回授業 ソーシャルメディアについて

【事前】事前に配布する英語で書かれた長文を読み、単語の意味を確認しておく。The Sociology of Gender: An Introduction to Theory and Research, Amy S. Wharton, Wiley-Blackwell, 2001を図書館で借りることができるならば一読すると尚良いでしょう。

【事後】配布した長文を復習しておくこと。

第8回授業 小テスト

【事前】指示されたトピックについて、各自で復習しテストの準備をしておく。

【事後】配布した長文を復習してノートを整理する。

第9回～第10回授業 ジェンダー

【事前】事前に配布する英語で書かれた長文を読み、単語の意味を確認しておく。The Sociology of Gender: An Introduction to Theory and Research, Amy S. Wharton, Wiley-Blackwell, 2001を図書館で借りることができるならば一読すると尚良いでしょう。

【事後】配布した長文を復習しておくこと。

第11回授業 小テスト

【事前】指示されたトピックについて、各自で復習しテストの準備をしておく。

【事後】配布した長文を復習してノートを整理する。

第12回 応用編の回1

[事前] 指示されたトピックについてあらかじめ単語などを調べるなど準備しておく。

[事後] 配布した長文を復習してノートを整理する。

第13回 応用編の回2

[事前] 指示されたトピックについてあらかじめ単語などを調べるなど準備しておく。

[事後] 配布した長文を復習してノートを整理する。

★オンデマンド回（これまでの総括と復習の回）

[事前] これまでに配布された全ての英語で書かれた長文を読み、単語の意味を確認しておく。質問がある場合はノートに書き出しておく。

[事後] 配布された長文や資料を復習しておくこと。

第14回 期末テストとその解説

[事前] これまで配布された長文および授業中に配布した関連資料などを復習しておく。

[事後] 期末テストでできなかった箇所を改めて復習し、配布したものをすべてを復習してノートを整理する。

授業の到達目標/Expected outcome

現代の社会でおこっている様々な出来事に関して英語で読解し、考えることができるようになること。社会学の基礎的概念や理論を用いて批判的に視点を持てるようになること。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

・思考力

・幅広い教養

専門知識・専門技能

【現代社会学部 現代社会学科】

・社会学における基礎知識

【現代社会学部 健康スポーツ社会学科】

・社会学における基礎知識

履修上の注意/Special notes, cautions

事前学習に関して適宜、Moodleでお知らせます。指示された事前学習を行っていることを前提に授業を進めます。Moodleを用いて各種の連絡を行うことがあるので、期間中はよく確認しておいてください。尚、受講の際の注意点として、本授業では状況にあわせて授業内容を部分的に変更する必要があることに留意しておいてください。また、授業に適した映像資料を入手できた場合は適宜それらを使いながら授業を進めていく予定です。

評価方法/Evaluation

小テスト3回（60%）20x3

残りの40%は15回目授業の期末テスト

教材/Text and materials

・教科書：なし

・教員が各回ごとに適宜Moodleにアップしたワークシートとレジュメ

・参考書：『Global Disapora』, Robin Cohen, London: Routledge, 2008、『The Sociology of Gender: An Introduction to Theory and Research』, Amy S. Wharton, Wiley-Blackwell, 2001、『The Sociology of Religion』, George Lundskow, Grand Valley State University Press, 2008（必読ではありません）

質問や相談の方法/Instructor contact

質問等がある場合は以下のオフィスアワー時に質問に来てください。担当教員のメールアドレスは初回の授業にお知らせします。

オフィスアワー

研究室 第六研究室棟 4F

火曜日昼休み(12:15~13:15)